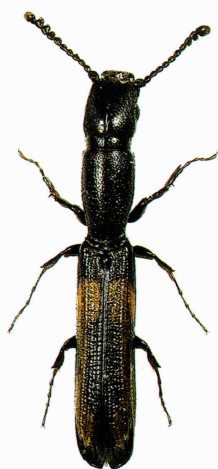


対馬からクロサワツツヒラタムシの記録

さかい 境 よしあき 良朗



クロサワツツヒラタムシ
Ancistria kurosawai Sasaji,
1993は種子島, 屋久島の
標本を基に記載され, その
後, 鹿児島県本土におい
ても追加確認された(秋田,
1996)。最近では宮崎県か
らの記録もあるという(今
坂氏, 私信)。筆者は杉憲
氏より提供された標本の中
に本種を見出したが, 対馬
初記録と思われるので報告
する。

対馬産クロサワツツヒラタ
ムシ

1ex. (写真), 長崎県対馬
市上県町佐護(千俵蔭山),
4. V. 2019, 杉憲採集・筆
者保管

体長6.5mm。ネット上に上がっている個体とは触角
6～11節の形態に違いが見られたが, 原記載論文を確
認していただいた今坂氏によると, 雌雄の違いによる
ものとのことであった(Sasaji, 1993)。これまで記録
された分布状況から, 本種は対馬暖流に乗って生息域
を北へと広げている, いわゆる西回りの昆虫の一種と
いうことが推測される。今後, 九州西岸域からの発見
が期待される。

末筆ではあるが, 標本を提供いただいた杉憲氏, 原
記載に基づき多くの貴重なご教示いただいた今坂正一
氏にお礼申し上げる。

○引用文献

秋田勝己, 1996. 九州本土におけるクロサワツツヒラタ
ムシの記録. 甲虫ニュース (114): 6.

Sasaji, H., 1993. Contribution to the taxonomy of the
superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her
adjacent districts, VII. The Memoires of the Faculty of
Education, Fukui University, Series II (Natural Science)
(44): 17-25.